

HX Data Platform のコマンド

- stcli コマンド (1ページ)
- stcli about コマンド (2ページ)
- stcli -help コマンド (3 ページ)

stcli コマンド

HX Data Platform コマンド ライン インターフェイス(CLI) コマンドは、すべて stcli で始まります。

stcli [-h] {about | services | vm | dp | snapshot-schedule | cluster | appliance | node | disk | cleaner | datastore | file | security | license | rebalance}

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
about	セットのいずれかが必 要。	コントローラ VM サービスであるストレー ジマネージャ(stMgr)に関する情報。
appliance	セットのいずれかが必 要。	ストレージクラスタ アプライアンス名前空 間でサポートされているコマンド。
cleaner	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ クリーナー名前空間で サポートされているコマンド。
cluster	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ名前空間でサポートさ れているコマンド。
datastore	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ データストア名前空間 でサポートされているコマンド。
disk	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ ディスク名前空間でサポートされているコマンド。
file	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ VM ファイル名前空間 でサポートされているコマンド。

オプション	必須またはオプション	説明	
license	セットのいずれかが必 要。	スマート ライセンス名前空間でサポートされているコマンド。	
node	セットのいずれかが必 要。	ストレージクラスタノード名前空間でサポートされているコマンド。ストレージクラスタノードは、ハイパーバイザーノードとストレージコントローラで構成されています。ストレージクラスタノードでは、ハイパーバイザー ID/IP を識別に使用します。	
rebalance	セットのいずれかが必 要。	ストレージクラスタ再調整名前空間でサポー トされているコマンド。	
復旧		サポートされていません。	
security	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ セキュリティ名前空間 でサポートされているコマンド。	
services	セットのいずれかが必 要。	ストレージクラスタシステムサービス名前 空間でサポートされているコマンド。	
snapshot-schedule セットのいずれかが必 要。		このストレージ クラスタ内のすべてのオブ ジェクトに対するスナップショット スケ ジュールを有効/無効にします。	
vm	セットのいずれかが必 要。	ストレージ クラスタ VM 名前空間でサポー トされているコマンド。	

コマンドデフォルト なし。セット内の1つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引 数を任意に指定できます。

stcli about コマンド

HX コントローラ VM のサービスであるストレージマネージャ (stMgr) に関する情報を表示 します。これは、コントローラ VM を管理するサービスです。

stcli about

コマンドデフォルト なし。

使用上のガイドライン stcli about コマンドを実行します。

stcli about

serviceType: stMgr instanceUuid:

name: HyperFlex StorageController locale: English (United States)

serialNumber: apiVersion: 0.1 modelNumber: X9DRT build: 2.0.1a-19584 (master)

displayVersion: 2.0(1a) fullName: HyperFlex StorageController 2.0.1a

productVersion: 2.0.1a-19584

stcli -help コマンド

すべての stcli コマンドに対するヘルプ オプション。

stcli [COMMAND] [-h]

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	-h,help	必須	指定されているコマンドに関連するヘルプ メッセージを表示して終了します。

コマンドデフォルト なし。

使用上のガイドライン stcli コマンドでは、位置指定のコマンドまたは引数のいずれかと --help オプションを指定し

stcli -help コマンド